事前質問に対する回答一覧表

第3回十日町市総合計画審議会

《基本構想（案）、前期基本計画 個別施策（案）※基本方針1に関する個別施策》

【質問事項回答】

No.	質問者	資料No.	ページ	箇所・項目等	質問内容	回答	担当課
1	宮澤徹委員	1	5	基本構想	第二次後期基本計画と項目や内容が変わったが、順位付けは、この項番順となっているのか。（取組の優先順位）	取組の優先順位ではなく、社会潮流のグローバルな視点から、国内、市内の順としつつ、課題の関連性を踏まえた順としております。	企画政策課
2	宮澤徹委員	1	5～6	基本構想 第3章 3 人口減少と少子高齢化の進行	第二次後期計画では、人口増加の施策が必要と取り組んできたと考えられるが、本計画では「人口減少を前提としたまちづくり」となっている。増加に対する施策は大きく取り上げないのか。	地方では人口減少が加速し、また、日本全体の人口が減少する中、地方の自治体として人口増加を目標とすることは相応しくありません。これまで第二次後期計画においても、人口増加ではなく、人口減少を抑える施策や出生数の増加につながる施策を講じてきたところです。 なお、国においても、地方創生2.0（令和7年6月13日閣議決定）の中で、「これまで人口減少を受け止めた上での対応が不足していた」ことを、地方創生10年の反省点としてまとめています。 このため、人口減少の減少幅を抑えるとともに、人口減少を正面から受け止め、人口減少を前提としたまちづくりや人口規模の変化に対応できるまちづくりが必要であると考えております。	企画政策課
3	川崎正男委員	1	11	1 目指すまちの姿	目指すまちの姿に、「大地に遊ぶ」という表現が使われています。目指すまちの姿で、「雪と生きる」「未来を創造するまち」については説明がありますが、「大地に遊ぶ」についてはその意味するところを読み取ることができませんでした。どんなことを意味しているのでしょうか。	「大地に遊ぶ」は、十日町市の豊かな自然や文化に主体的に関わり、楽しみ、そこに価値を見出すという意味を込めた表現です。例えば、「大地の芸術祭」に見られるように、自然とアートが融合した風景や、ゆとりある里山暮らしなど、十日町市の大地は、「楽しみ、味わいを創り出せる」場でもあります。 こうした暮らしの価値をさらに磨き、楽しさや豊かさとして未来を創造していくという思いを、「大地に遊ぶ」という言葉に込めております。	企画政策課
4	川崎正男委員	1	18	基本方針1（2）	「個別最適な学び」と「協働的な学び」はどんな学びのことをいうのでしょうか。また、それらの「一体的な充実を図ります」とは、どういうことを言うのでしょうか。分かりやすい説明をお願いします。	「個別最適な学び」とは、こどもの特性や教育的なニーズに対応した学び、また「協働的な学び」については多様な他者との協働や協力を指しております。この2つの学びを反復して行うことで、異なる考え方が組み合わせたり、より深い理解や学びが得られることをイメージしております。	学校教育課
5	加納行弘委員	1	29	戦略4 数値目標の目標値	成果指標として設定している「関係人口数」の計上方法は、「第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略」p.18と同様であると思慮するところ、同戦略に係る「令和4年度地方創生交付金（推進交付金）検証シート」によれば、関係人口数はR3；11,103人、R4；13,483人と微増であったものの、R6；12,773人（当計画の基準値）と微減している。このことに照らすと、当計画でR12までに約1.3倍まで増加させる中間目標はやや高めとも思われます。この点について、基本的方向に記されているものに加えて、関係人口の増加を強化するための施策としてどのようなものと考えられているのかご教示願います。	関係人口の増加を強化するための施策として、ふるさと納税制度を活用した十日町ファンの拡大の他、二地域居住の推進やふるさと住民票登録制度の導入、地域おこし協力隊による関係人口創出の取組、包括連携協定を締結した大学との連携事業などを予定しております。 なお、基本構想に位置付ける重点戦略の基本的方向について案としてお示ししましたが、具体的な施策につきましては、今後の審議でお示しいたします。	企画政策課
6	高橋智恵子委員	2	1	施策1 基本方針1 政策1 施策① ■施策の展開	1-①こどもに対する意向調査やワークショップの対象年齢は、どの範囲を想定しているのですか。	意向調査やワークショップの対象年齢は保育園4歳児から18歳までを想定しております。 なお、こども基本法では、すべてのこどもが意見を表明できる機会を確保することと規定されております。こどもの年齢や発達段階、特性に応じ、すべてのこどもが意見を表明できる機会の確保に努めます。	子育て支援課

No.	質問者	資料No.	ページ	箇所・項目等	質問内容	回答	担当課
7	高橋智恵子委員	2	4	施策4 基本方針1 政策1 施策④ ■施策の展開	1-②婚活イベントの対象年齢は、どの範囲を想定しているのですか。	結婚適齢期であることや、同年代の出会いを求めるニーズが高いことを受け、主として20～30代を対象としたイベントを開催する予定です。一方で、晩婚化が進み、40代の未婚者が増えていることから、30～40代向けのイベント開催も想定しております。	企画政策課
8	川崎正男委員	2	5	施策5 基本方針1 政策2 施策①学校教育の充実 ■現状と課題	「施策の方針」では、「学力の向上、不登校・いじめの減少を目指し、『居心地のよい学級づくり』を核として、・・・」と表現されています。「現状と課題」では、学力の向上と「居心地のよい学級づくり」との関連は述べられていますが、いじめ・不登校との関連は述べられていません。なぜでしょうか。	令和4年度以降、「居心地のよい学級づくり」を中核に据えて学力の向上、不登校・いじめの減少等の教育課題に取り組んでいます。現状と課題の2点目の不登校、3点目のいじめの記述にはあえて「居心地のよい学級づくり」以外の取組と関連性を列記しております。しかしながら、これらの取組の基礎には「居心地のよい学級づくり」により、こどもが安心して過ごせる親和的な学級づくりがあることをご理解いただきますようお願いいたします。	学校教育課
9	川崎正男委員	2	5	施策5 基本方針1 政策2 施策①学校教育の充実 ■まちづくり指標	「まちづくり指標」で3項目が挙げられています。この3項目にした理由を教えてください。	(1)「全国学力・学習状況調査の平均正答率の当市の全国との差」については「全国学力・学習状況調査」が全市町村で取り組まれており、国県の学力状況との比較を適正に実施できること、また新潟県「教育振興基本計画」の評価指標となっており、県計画との整合性についても勘案の上、新たに設定したものです。 (2)「事業にICTを活用して指導できる教職員の割合」については、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、ICTを活用した授業づくりと教職員のICTスキルの向上が求められています。加えて、一人一台端末の整備が完了した現在、利活用・運用のフェーズにあることを踏まえ、第二次総合計画後期計画の施策No.6「学校教育施設の整備」から当該指標を引き継ぐこととしたものです。 (3)「「学校で楽しく過ごしている」と感じるこどもの割合」については当市の学校教育施策の中核に据えている「居心地のよい学級づくり」の取組効果を評価できる指標として新たに設定したもので、当該指標が高率であるほどこどもが安心して過ごせる親和的な学級が多いと評価できるものと考えております。	学校教育課
10	加納行弘委員	2	8	施策8 基本方針1 政策3 施策① ■現状と課題	「・ひとり暮らしの高齢者、障がい者、生活困窮者、また『8050』やひきこもり,.. (以下略)」について「8050」に係る用語説明がなされておられません。「資料」編などで用語説明を記す予定でしょうか。ご教示願います。なお、施策11/基本方針1/政策4/施策①/■現状と課題 欄においては、「社会的処方」に係る用語説明が本文中に記されているため、同様に本文中又は用語解説編などにおいて用語説明をされた方がよろしいと考えます。	巻末に資料編を記載し、用語解説を記す予定です。 なお、「8050」の解説は以下のとおりです。 「8050」：80代の親が50代のひきこもりの子どもを経済的に支えることで、親の高齢化や経済的困窮、社会的孤立が進む問題のこと。	福祉課 健康づくり推進課
11	高橋智恵子委員	2	11	施策11 基本方針1 政策1 施策① ■施策の展開	3-②自殺のリスクが高い人とは、どのような人を対象と想定しているのですか。	現に希死念慮や未遂歴のある方のほか、自殺者の実態把握・分析から、健康問題を抱えている方、うつやアルコール依存等の精神疾患のある方、身体機能が低下した方、家族と同居している方、無職の方。また、性別では男性、年代では40代、50代と80才以上の方などがハイリスク群となっております。	健康づくり推進課
12	川崎正男委員				全体を通して、「こども」と「子ども」の使い分けが統一されていないようです。例えば資料2の「第三次十日町市総合計画 前期基本計画」の目次の第2章基本方針1 施策1の「子ども」は「こども」ではないでしょうか。P17にも「子ども」の表記が2か所あります。	最終的に統一した表記（「こども」）といたします。	企画政策課